

30E13-am01S

薬学生実務実習～薬局製剤への挑戦～

○石郷 友之¹, 内山 一弥², 田本 敬一²(¹北海道薬大, ²フォー・ユウ調剤薬局)

《目的》

薬局実務実習での薬局製剤の実習は、見学・講義に終始するケースが一般的となっていて、自分を含め物足りなさを感じている学生は多い。

今回、受け入れ薬局において保健所への許可申請から実際の販売まで薬局製剤のすべてを経験するチャンスを得た。貴重な経験ができたと考え報告する。

《方法》

- ・保健所での製剤製造販売許可申請。
- ・薬袋作成、効能効果、用法用量の記入。
- ・薬局製剤製造。(漢方も含め7剤)
- ・販売・販売記録。

上記一連の工程を指導薬剤師とともにいった。

《結果》

一連の工程のほとんどを自分で調べ、自分で考え、判断して行動した。

そのため、やりがいは大きく、許可が下りた時また売れた時の嬉しさなど体験でき、実習は有意義なものとなった。

《考察》

実務実習であるからには、できることは実際にやってみたい。

[学生はここまで]という線引きはせず「薬剤師として行動する」をシュミレートする研修であって欲しいと考える。 又、我々学生はもっとできる。